

NTT東日本関東病院 フォーマュラリー

2020年6月作成

2022年7月改訂

当院におけるフォーマュラリーとは、当院で定めた、患者に対して「最も有効」かつ「経済的」な医薬品使用方針を指します。専門医が必要とする薬剤選択が実現されているほか、ご専門ではない先生（非専門医）の一つの方針として活用されています。

標準薬物治療の推進（薬剤エラーの回避）、医療費の抑制および病院や診療所、薬局との連携による地域医療の質向上を目的に当院が定めるフォーマュラリーを公開しました。

本フォーマュラリーを企業のプロモーション等で活用することを禁止します。

DPP4-阻害剤の推奨リスト【2019年1月作成：第1版】

第1推奨	シタグリプチンリン酸塩錠25mg、50mg
	リナグリプチン錠5mg

プロスタグランジン関連点眼薬の推奨リスト【2019年4月作成：第1版】

第1推奨	ラタノプロスト点眼液0.005%（後発品）
第2推奨	ビマトプロスト（後発品）、トラボプロスト（後発品）、タフルプロスト（後発品）

PPI注射剤の推奨リスト【2019年4月作成：第1版】

第1推奨	オメプラゾール注20mg（後発品）
第2推奨※	ランソプラゾール注30mg

※原則、相互作用のあるワルファリン・クロピドグレルを使用している長期にPPI注射剤治療が必要な患者に使用

PPI経口剤の推奨リスト【2019年11月作成：第1版】

目的：低用量アスピリン、NSAIDs潰瘍 再発抑制	
第1推奨	ランソプラゾールOD錠15mg（後発品）
第2推奨※	ボノプラザンフマル酸塩錠10mg

※右記高リスク患者に推奨 ・潰瘍既往歴のある患者 ・高齢者 ・抗血栓薬併用

目的：逆流性食道炎	
第1推奨	ランソプラゾールOD錠15mg、30mg（後発品）
	ラベプラゾールNa塩錠10mg（後発品）
第2推奨※	ボノプラザンフマル酸塩錠10mg、20mg

※難治性

目的：嚥下困難・経管投与患者への投与	
第1推奨	ランソプラゾールOD錠15mg、30mg（後発品）
第2推奨	ボノプラザンフマル酸塩錠10mg、20mg

目的：P-CABの使用	
ボノプラザン フマル酸塩錠 20mg	・ <i>H.Pylori</i> 除菌 ・急性期（出血、潰瘍リスクが高いと判断される場合） 【慢性期はランソプラゾール、ラベプラゾールを推奨】

超即効型インスリンの推奨リスト【2020年8月作成：第1版】

第1推奨	インスリン リスプロ（遺伝子組換え）（バイオシミラー）
第2推奨※	インスリン アスパルト（遺伝子組換え）

※既にインスリン アスパルト（遺伝子組換え）で安定している患者に推奨

抗ヒスタミン薬(第二世代)の推奨リスト【2020年10月作成:第1版】

眠気が少ない	デスロラタジン錠5mg
	ビラスチンOD錠20mg
	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg(後発品)
眠気が出やすい	オロパタジン塩酸塩OD錠5mg(後発品)
	ルパタジンフマル酸塩錠10mg
	レボセチリジン塩酸塩錠5mg(後発品)

※患者状態に応じて使い分け表*を参考に処方（＊院内限り）

フィブラート系薬の推奨リスト【2021年11月作成:第1版】

第1推奨	フェノフィブラート錠80mg(後発品)
第2推奨	ベザフィブラートSR錠200mg(後発品)

不眠症治療薬の推奨リスト【2022年7月作成:第1版】

第1推奨	レンボレキサント錠 ^{※1}
第2推奨 ^{※2}	ラメルテオン錠

※1：CYP3A4を中等度又は強く阻害する薬剤と併用している場合は「2.5mg/日」まで

※2：転倒高リスクの患者